

病児室だより

R4年10月第4号



10月10日は目の愛護デー

稲穂も色づき、暑い夏から朝・晩と肌寒い季節となりました。衣服の調整が難しい季節でもありますね。秋には、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋など、色々な秋があります。夏の疲れに負けず、体調を整え色々な秋を楽しみましょう！

8月24日に、県では手足口病に対して、警報を発令しました。この警報発令は、3年ぶりだと言います。9月12日の段階でも、まだ警報の解除には至っていないようです。そこで、手足口病について、紹介していきたいと思えます。

手足口病とは

- ・主にエンテロウイルスによって引き起こされる感染症です。感染経路は、**飛沫感染・接触感染・経口感染**と様々です。
- ・感染すると3～5日間の潜伏期間を経て、手や足、口の粘膜に**水疱性の発疹**が出現し、通常3～7日間ほどで消失します。
- また、軽度の発熱(38℃以下)が見られることもあります。
- ・**5才以下の乳幼児がかかりやすい**感染症で、主に**夏に流行**します。

手足口病にかかったら

- ・特別な治療はなく、症状を楽にする方法(対症療法)が行われます。
- ・口の中に水疱が出来るため、食事や水分が摂りにくくなり、**脱水症状を起す**ことがあります。柔らかく刺激の少ないものを摂取しましょう。

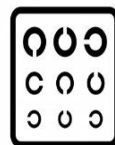
予防のポイント

- ◎**しっかりと手を洗うことが大切です！**
- ・**トイレやオムツ交換の後、調理や食事の前**には、十分に手を洗いましょう。
- ・症状がなくなっても、しばらくは便の中にウイルスが排出されます。オムツ交換など、排泄物の処理をする際は、使い捨て手袋やマスクを着用しましょう。



10月10日の数字を横にすると目と眉毛に見えることから、1931年に「視力保存デー」として制定され、戦後「目の愛護デー」となりました。子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成すると言われています。その後、視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分に遊ばせ、外の景色を沢山見せることで、お子様の視力を育てていきましょう。

こんな見方は危険信号！



- ・テレビや絵本に近付いて見る。
- ・明るい戸外でまぶしがる。
- ・目を細めている。
- ・上目遣いに物を見る。
- ・目つきが悪い、目が寄っている。
- ・見るときに首を曲げたり、頭を傾けたりする。

子どもは視力が悪いことを自覚できません。斜視や弱視の可能性もあるため、普段から気にかけて見るようにしましょう。



特定非営利活動法人 オープンハウスこんぺいとう
病児室 TEL0233-29-2301
(お問合せ 平日 8:30~17:30)